

Core2Core プログラム 出張報告書

[出張者]

1. 宮川 拓也 (生命医科学専攻 武岡研究室 修士2年)

[訪問先]

1. Nanyang Technological University (NTU)、シンガポール、ナンヤン
2. 早稲田バイオサイエンスシンガポール研究所(WABIOS)、シンガポール、バイオポリス

[滞在期間]

2016年1月12日(火)～2016年1月21日(木) (7泊9日 機中1泊)

[概要]

本出張では、Nanyang Technological University (NTU)にて、佐藤裕崇博士と共にカプトムシと高分子超薄膜(ナノシート)を用いた融合研究において、武岡研究室で作製したマテリアルを用いた評価を行った。滞在期間中の具体的な研究内容を以下に記す。

2016年1月13日(水): シンガポールに到着し、翌日以降の実験計画についての打ち合わせを佐藤裕崇博士、WABIOSの新井敏博士と行った。

2016年1月14日(木)～2016年1月15日(金): 顕微鏡のセットアップ等について、Ferdinandus氏(NTU、学生)とともに検討した。温度測定時の検量線の作製実験を行った。

2016年1月16日(土)～2016年1月17日(日): 得られたデータの解析を行った。

2016年1月18日(月): 佐藤裕崇博士、新井敏博士、WABIOSの鈴木団博士、Ferdinandus氏を交え、得られた結果についてミーティングを行った。

2016年1月19日(火): 検量線の作製実験の再実験を行った。

2016年1月20日(水): 佐藤裕崇博士と得られた結果についてミーティングを行った。

Ferdinandus氏、Vo Doan Tat Thang氏に対して、ナノシートの使用方法に関する引継ぎを行った。

2016年1月21日(木): 帰国

[総括]

今回の訪問は、カプトムシをターゲットとしたNTUとの共同研究において、論文投稿の際に必要なデータを得ることが目的であった。滞在中の実験およびディスカッションを通じて、論文に必要なデータを得ることができた。出張者は帰国後に、滞在中に得られたデータを論文にまとめている。また、ナノシートの使用方法についての引継ぎを行ったことで、本共同研究の今後のさらなる発展が期待される。